

パレット保育園・たまプラーザ

2024年度自己評価表

【1】 I -1- (1) -① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・理念、保育方針がホームページやしおりに明記している ・共通理解を得るために、年度初めに保育理念、保育方針、スタッフの使命について確認後穴埋め等をして確認している ・入園説明会、進級説明会で理念、保育方針について保護者にしおりをもとに説明している 	
【2】 I -2- (1) -① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・法人本部で地域のニーズ、地域の動向を分析し、受入数を調整している ・青葉区園長会、タウンミーティング、幼保小交流会に積極的に参加し地域の繋がり、情報共有を行い把握し分析している ・G-News、運営要項巻頭言、施設長会議時のエリア分析などの内容から園に求められている状況を把握している 	
【3】 I -2- (1) -② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・損益mtgで経営状況を把握している ・課題を改善するために、地域の子育て支援事業に積極的に参加したり、園内で見学会やイベントを実施している 	
【4】 I -3- (1) -① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画の目標を職員全体で共有している ・園目標は中期計画の目標を達成できるように職員と話し合って決めている ・園目標を達成することが中期計画の達成につながるような具体的な内容にしている ・中期目標は法人と施設長で定期的に見直し、必要があれば変更をしている 	

【5】	I -3- (1) -② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	1.単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	<input type="radio"/>
	2.単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	<input type="radio"/>
	3.単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	<input type="radio"/>
	4.単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・事業計画は具体的な内容で策定している
- ・入園数の目標を設定し達成に向けて園全体で取り組んでいる
- ・目標設定では、事業部の目標を職員全体で周知し、園目標、施設長、職員の目標に紐づけたてている
- ・目標達成に向けて、見守り制度、毎月のミニ面談を実施し評価を行っている

(2) 事業計画が適切に策定されている。

【6】	I -3- (2) -① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	1.事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	<input type="radio"/>
	2.計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	<input type="radio"/>
	3.事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	<input type="radio"/>
	4.評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・年度初めの園会議で十分に時間を取り職員全体の意見を反映させ園目標を策定している
- ・職員全体の目標達成が園目標、事業部目標達成につながるため、目標見守りシートを活用して毎月面談を実施し評価や進捗を確認している
- ・毎月の面談では、現時点での課題や意見を把握し必要に応じて全体に周知、具体策を考える機会を持っている

【7】	I -3- (2) -② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
	1.事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。	<input type="radio"/>
	2.事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	<input type="radio"/>
	3.事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	<input type="radio"/>
	4.事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・入園説明会、進級説明会で説明している
- ・行事は事前にアナウンスしている
- ・毎月発行している園だよりに行事の記載をしている
- ・コドモンを活用し、年間の行事を入力し、いつでも確認できるようにしている

【8】	I -4- (1) -① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	1.組織的にP D C Aサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。	<input type="radio"/>
	2.保育の内容について組織的に評価（C : Check）を行う体制が整備されている。	<input type="radio"/>
	3.定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	<input type="radio"/>
	4.評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・毎月、ミニ面談を全職員実施し保育の質の向上につながっている
- ・毎月のミニ面談は施設長、副施設長と交代で行い、職員と様々な視点で園運営を考えていけるようにしている
- ・姉妹園の施設長が定期的に巡回を行いアドアイスや相談ができる仕組みになっている
- ・毎日振り返りや反省を行い保育に反映させている
- ・ICTを活用して全職員が各クラスの指導計画を閲覧でき子どもの育ちを共通理解することができている

【9】	I -4- (1) -② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	1.評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	<input type="radio"/>
	2.職員間で課題の共有化が図られている。	<input type="radio"/>
	3.評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	<input type="radio"/>
	4.評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	<input type="radio"/>
	5.改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 定期的に話し合いを行い、共通認識を図り、課題の改善に向けて取り組んでいる
- 行事後、職員、保護者にアンケートを実施している
- 園内でチームをつくり計画的な取り組みを行い、課題解決にむけてチームでの取り組んでいる

【10】	II-1- (1) -① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
	1.施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	<input type="radio"/>
	2.施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。	<input type="radio"/>
	3.施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	<input type="radio"/>
	4.平常時のみならず、有事（災害、事故等）における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	<input type="radio"/>
	【判断した理由・特記事項等】	

- 園内会議やミーティング等で園の方向性を職員に示している
- ホームページに記載している
- ハンドブックに報告基準が記載されている
- 施設長不在時の対応については、年度初めの園会議で全職員で確認している
- 施設長不在の緊急時に対応できるように事務所に連絡体制やマニュアルを掲示している

【11】	II-1- (1) -② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
	1.施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	<input type="radio"/>
	2.施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	<input type="radio"/>
	3.施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	<input type="radio"/>
	4.施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	【判断した理由・特記事項等】	

- 姉妹園に限らず法令に関する問題などがあった場合は全職員に周知し今後の取り組みを明確にしている
- 施設長会議等で共有された内容について、全職員に周知されている

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

【12】	II-1- (2) -① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
	1.施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
	2.施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
	3.施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
	4.施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	5.施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- 毎月の面談を通して、個々への課題への助言、園全体の課題について考える時間をつくっている
- 他園、外部からの情報を参考しながら、自園の保育の質の向上に努めている
- 園内の職員が数名ずつチームになり各分野において職員が主体的に取り組めるようにしている
- 研修計画をたて、外部の研修に積極的に参加できるようにしている

【13】	I -1- (2) -② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	1.施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	<input type="radio"/>
	2.施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	3.施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
	4.施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・クラス担任とは別にチームをつくり、一人一人の職員に役割を持たせることで各自が当事者意識を持って取り組んでいる
- ・休みの取り方やシフトについて、職員の意見を反映させている

【14】	II -2- (1) -① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	1.必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	<input type="radio"/>
	2.保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	<input type="radio"/>
	3.計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。	<input type="radio"/>
	4.法人（保育所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・実習生や学生アルバイトを積極的に受け入れている
- ・新入社員に対する研修制度が確立されている

【15】	II -2- (1) -② 総合的な人事管理が行われている。	b
	1.法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	<input type="radio"/>
	2.人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。	<input type="radio"/>
	3.一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	<input type="radio"/>
	4.職員待遇の水準について、待遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
	5.把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	<input type="radio"/>
	6.職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・園内の面談、研修だけでなく、法人の面談、法人主催の研修等を実施している
- ・できたかな表を活用して職員一人一人の評価をおこない、給与に反映させている
- ・キャリアパスを策定している
- ・職員の管理は法人本部の労務課がおこなう等、法人全体での管理をおこなっている

【16】	II-2- (2) -① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
	1.職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	<input type="radio"/>
	2.職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	<input type="radio"/>
	3.職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	<input type="radio"/>
	4.定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。	<input type="radio"/>
	5.職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	<input type="radio"/>
	6.ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	<input type="radio"/>
	7.改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	<input type="radio"/>
	8.福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・業務時間内に業務ができるよう職員の業務量を把握しシフトに反映させている
- ・有休取得等、本人の希望を反映させている
- ・有休は取得できてはいるが、付与分の消化は難しい状況を感じている
- ・有休取得状況や時間外労働等のデータは確認できるため全体的に公平になるようにしている
- ・施設長だけでなく、法人担当との面談や、本部の相談窓口に相談できる仕組みがある
- ・業務量や園児数から判断し、毎年の配置数（人員体制）に反映している

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

【17】	II-2- (3) -① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	1.組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="radio"/>
	2.個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションの上で職員一人ひとりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
	3.職員一人ひとりの目標設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	<input type="radio"/>
	4.職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="radio"/>
	5.職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・園全体の目標をもとに個人目標をたて、それに伴う具体的な行動を3つ挙げ毎月達成できたか評価している
- ・毎月面談を実施し評価や進捗を確認している。目標達成に向けて、具体策を考える機会を持っている
- ・前期と後期で目標設定を行い、目標は同じお部屋の職員とも共有し、個々の目標達成に向けて、チームで取り組める仕組みにしている

【18】	II-2- (3) -② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	1.保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<input type="radio"/>
	2.現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	<input type="radio"/>
	3.策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	<input type="radio"/>
	4.定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>
	5.定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・ハンドブックに「スタッフの使命」、「スタッフの行動原則」、「保育スタッフ指導原則」を掲載している
- ・保育マニュアル、手順書等を見直しを行い、更新されている
- ・保育マニュアル、手順書を活用して研修を実施している。動画での確認も可能なため、知りたいときに確認できる仕組みになっている
- ・研修計画は個別にたてている
- ・園内研修内容は年間で計画をたて実施している。必要に応じて研修内容の見直しを行い必要な研修を取り入れている

<p>【19】 II-2- (3) -③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p> <p>1.個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。 2.新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。 3.階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。 4.外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。 5.職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> 新入社員には育成担当がつき、OJTを実施している キャリアアップ研修、行政研修、法人内の研修を積極的に受講できるようにしている 研修に参加した職員は研修報告書で職員に周知をしている 園内研修で研修を受けた職員が主体で他職員に向けて研修を行い、学びあえる関係性をつくっている 	
<p>【20】 II-2- (4) -① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p> <p>1.実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。 2.実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。 3.専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。 4.指導者に対する研修を実施している。 5.実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> 実習前に、オリエンテーションを実施している 実習内容（配属クラス・部分実習・責任実習）は実習生の希望を尊重して決定している 実習生の指導方法については、その都度、指導の方法や内容を指導者間で共有しながらすすめている 	
<p>【21】 II-3- (1) -① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> <p>1.ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。 2.保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。 3.第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。 4.法人、（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするように努めている。 5.地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ホームページに事業計画、事業報告、第三者評価結果、自己評価を掲載している 社内報、運営要項を通して、法人、事業部の運営状況を周知している ホームページに理念、方針だけでなく、園で開催されるイベントの告知もおこなっている 	
<p>【22】 II-3- (1) -② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p> <p>1.保育所における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。 2.保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。 3.保育所の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。 4.外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> 監査の内容を周知し、改善点を話し合い改善している 姉妹園の施設長、法人本部の整備課による保育や環境設備の確認を定期的に実施している 税理士によるアドバイスをいただき、経理処理方法に反映させている 臨床心理士の巡回による保育のアドバイスを反映させている 年2回実施している運営委員会では保護者のみではなく第三者委員の方にも参加していただきご意見をいただいている 経理規程を作成している 	

<p>〔23〕 II-4- (1) -① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p>1.地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。 2.活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。 3.子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。 4.保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。 5.個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の実施や夏まつりに地域の方の参加を受け入れている ・園玄関に地域の子育て支援についての情報が書かれたパンフレットを設置している ・近隣園、小学校との交流に積極的に参加している ・地域の子育てタウンミーティングに参加し地域との連携を図れるようにしている ・事業計画に地域の交流について記載をしている 	
<p>〔24〕 II-4- (1) -② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p> <p>1.ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化している。 2.地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。 3.ボランティア受け入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。 4.ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。 5.学校教育への協力を働いている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れマニュアルを全職員が確認できる ・ボランティアの受け入れは実績がないが、職業体験の受け入れは依頼があれば積極的におこなっている 	
<p>〔25〕 II-4- (2) -① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p> <p>1.当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。 2.職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。 3.関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。 4.地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。 5.地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。 6.家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・青葉区園長会、タウンミーティング等で地域の関係機関の情報共有や取り組み内容を共有している ・関係機関の資料は事務所に置いてある ・必要な情報をすぐにお伝えできるよう、関係機関一覧を事務所内に掲示している 	
<p>〔26〕 II-4- (3) -① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p> <p>1.保育所（法人）が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。 2.保育所のもつ機能を地域に還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。 3.地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・青葉区園長会への参加、近隣園、小学校との交流、地域の子育て支援イベントに積極的に参加している ・地域交流では園見学のみならず、子育て支援の一環として育児相談、情報提供をおこなっている ・施設長会議、損益mtg、エリアmtg等で、地域のニーズを把握し、入園枠に反映している 	

〔27〕	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
1.把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動（地域の子どもの育成・支援、子どもの貧困への支援等）を実施している。	<input type="radio"/>	
2.把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	<input type="radio"/>	
3.多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	<input type="radio"/>	
4.保育所（法人）が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや、専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	<input type="radio"/>	
5.地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。		

【判断した理由・特記事項等】

- ・地域交流では園独自プログラムである「学習タイム」を体験できる
- ・地域の子育て支援イベントに積極的に参加し育児相談や情報提供をおこなっている
- ・地域交流や園見学に来ていただいた際は見学のみならず、子育て支援の一環として育児相談、情報提供をおこなっている

〔28〕	III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつたための取組を行っている。	b
1.理念や基本方針に、「子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。」	<input type="radio"/>	
2.子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="radio"/>	
3.子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、個々の保育の標準的な実施方法等に反映されている。	<input type="radio"/>	
4.子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。	<input type="radio"/>	
5.子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	<input type="radio"/>	
6.子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>	
7.性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。	<input type="radio"/>	
8.子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

- ・人権擁護に関する研修や自己評価を行い、振り返りをしている
- ・不適切保育について話し合う機会を定期的にとり、保育の振り返りやより良い保育のためにを考えるようにしている
- ・園内研修等で定期的に話し合うことで職員の共通認識をもって保育できている
- ・名前の呼び方、言葉かけ等も定期的に振り返り、共通認識をもって日々の保育に活かせている

〔29〕	III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b
1.子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	<input type="radio"/>	
2.規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。	<input type="radio"/>	
3.一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	<input type="radio"/>	
4.子ども・保護者にプライバシー保護に関する取組を周知している。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

- ・着替えやおむつ替えには目隠しやカーテンを使用し、プライバシーに配慮している
- ・販売写真やホームページの写真について写真の内容について慎重に検討している
- ・職員間で改善点、気付きなどが出しやすい環境である

〔30〕	III-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
1.理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。		
2.保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="radio"/>	
3.保育所の利用希望者については、個別にていねいな説明を実施している。	<input type="radio"/>	
4.見学等の希望に対応している。	<input type="radio"/>	
5.利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

- ・ホームページで園の情報提供をおこなっている
- ・園からはしおりがいつでもお渡しできるようになっている
- ・見学は園内を案内しながら実際に環境面、保育の様等を見ていただけるようにしている

〔31〕	Ⅲ-1- (2) -② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	
	1.保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。	<input type="radio"/>	
	2.保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	<input type="radio"/>	
	3.説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	<input type="radio"/>	
	4.保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	<input type="radio"/>	
	5.特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	<input type="radio"/>	
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の保護者については、青葉区と連携をとり通訳者の同伴や翻訳機の使用等柔軟に対応している ・全体説明会のみではなく、個別面談を実施している ・重要事項等、保護者に説明後は同意書の記入をお願いしている 			
〔32〕	Ⅲ-1- (2) -③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	
	1.保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	<input type="radio"/>	
	2.保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	<input type="radio"/>	
	3.保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	<input type="radio"/>	
	【判断した理由・特記事項等】		
	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者や窓口は設置していないが、来園していただけるようお声かけをしている ・夏まつり等、行事に参加できるようにしている ・利用終了後の相談方法について明記されてはいないが、体制はある 		
(3) 利用者満足の向上に努めている。			
〔33〕	Ⅲ-1- (3) -① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	
	1.日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	<input type="radio"/>	
	2.保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。	<input type="radio"/>	
	3.保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。	<input type="radio"/>	
	4.職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。	<input type="radio"/>	
	5.利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。	<input type="radio"/>	
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会を実施し、日々の保育に関する要望、意見交換等をおこなっている ・行事後にはアンケートを実施し、その結果を反映させている ・保護者から要望などがあれば職員間で共有し改善する必要がある場合には話し合って改善に努めている ・行事ごとに法人の担当者が結果などを把握し、全体に関わる内容については会議等で改善に努めている 			
〔34〕	Ⅲ-1- (4) -① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	
	1.苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。	<input type="radio"/>	
	2.苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	<input type="radio"/>	
	3.苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しそうい工夫を行っている。	<input type="radio"/>	
	4.苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	<input type="radio"/>	
	5.苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。	<input type="radio"/>	
	6.苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。	<input type="radio"/>	
【判断した理由・特記事項等】			
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決について入園説明会、進級説明会で保護者に周知している。 ・玄関に掲示している。 ・保護者からの意見は職員間でも共有し対応策を検討している 			

【35】	III-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
		<input type="radio"/>
	1.保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	<input type="radio"/>
	2.保護者等等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	<input type="radio"/>
	3.相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> 園の苦情受付担当者の名前だけではなく、お客様相談室や第三者委員の連絡先もしおりに記載し、掲示もしている 個別で面談を実施する場合はプライバシーに配慮し事務所でおこなっている 		
【36】	III-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	1.職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいうように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	<input type="radio"/>
	2.意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。	<input type="radio"/>
	3.相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	<input type="radio"/>
	4.職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	<input type="radio"/>
	5.意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="radio"/>
	6.対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> 年2回の個人面談以外にも、保護者の要望に合わせて、随時面談を実施している 行事アンケートはすべての意見を匿名で公表し、改善点は運営委員会で報告している 送迎時は個別に対応し、保護者から相談や意見があった場合は記録に残し共有している 内容に応じてミーティングや昼礼等で保護者からの相談や意見を職員間で共有し、対応策等話し合っている 		
【37】	III-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	1.リスクマネジメントに関する責任者の明確化（リスクマネジャーの選任・配置）、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	<input type="radio"/>
	2.事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。	<input type="radio"/>
	3.子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	<input type="radio"/>
	4.収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	<input type="radio"/>
	5.職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	<input type="radio"/>
	6.事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> 怪我やヒヤリの事例について報告、再発防止策についての検討を必ず行っている 重大な事故の場合は、他園の情報についても内容の共有、対応策の検討を行っている 怪我やヒヤリ、事故報告は、ミーティングや昼礼で職員への全体周知を図っている 食事中の事故等の防止に関しては全職員に咀嚼状況の周知を図っている 業務継続計画を策定し、施設長が不在の場合でも、対応できるよう、マニュアルを整えている 		
【38】	III-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	1.感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="radio"/>
	2.感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	<input type="radio"/>
	3.担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="radio"/>
	4.感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="radio"/>
	5.感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="radio"/>
	6.感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	<input type="radio"/>
	7.保護者への情報提供が適切になされている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> 感染症マニュアル、手順書を活用した研修を実施している 感染症が発生した時には速やかにコドモンと掲示で保護者にお知らせしている 運営要項等で感染症の予防と発生時の対応について職員に周知している 		

〔39〕	III-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	1.災害時の対応体制が決められている。	<input type="radio"/>
	2.立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。	<input type="radio"/>
	3.子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
	4.食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>
	5.防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・毎月の避難訓練に加え、年に一度保護者にもご協力をいただき引き取り訓練を実施している
- ・年2回、商業施設が消防署と連携して実施する防災訓練に参加している
- ・園内研修にて実際に災害時の避難場所の経路確認をしている
- ・商業施設と連携を図り、全園児対象に1階まで降りる訓練を実施している
- ・避難訓練の様子や取り組みを保護者にも発信している

〔40〕	III-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
	1.標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	2.標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	3.標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	4.標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>
	5.標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・年齢別の保育マニュアルがあり、内容を年度初めの園内会議で確認している
- ・マニュアル、手順書はいつでも確認ができるよう掲示や各クラスに配布している

〔41〕	III-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	1.保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。	<input type="radio"/>
	2.保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。	<input type="radio"/>
	3.検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
	4.検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>
	【判断した理由・特記事項等】	

- ・マニュアル、手順書は、日々の保育について職員から改善案を出すことができ、その内容について検討、反映されている。
- ・園内会議やミーティング、昼礼で全職員が意見を出しやすい環境となるように配慮している

〔42〕	III-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b
	1.指導計画作成の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	2.アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	3.さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	4.全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。	<input type="radio"/>
	5.子どもと保護者等の具体的なニーズ等が個別の指導計画等に明示されている。	<input type="radio"/>
	6.計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	7.指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。	<input type="radio"/>
	8.支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・個人の発達記録に特筆すべき内容は記載されており、その内容について引き継ぎが行われている
- ・必要に応じて臨床心理士による指導計画の作成、評価を行っている
- ・毎日保育の振り返りを行い、反省を活かしている

【43】	III-2- (2) -② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
	1.指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	<input type="radio"/>
	2.見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	3.指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	<input type="radio"/>
	4.指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	<input type="radio"/>
	5.評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・離乳食やアレルギーへの対応について、保護者と関係職員とで面談をしながら保護者の意向も踏まえて計画をたてている
- ・各クラスの計画や振り返りの内容等、全職員が確認できる仕組みになっている

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

【44】	III-2- (3) -① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
	1.子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。	<input type="radio"/>
	2.個別の指導計画にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。	<input type="radio"/>
	3.記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	<input type="radio"/>
	4.保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	<input type="radio"/>
	5.情報共有を目的とした会議の定期的な開催の取組がなされている。	<input type="radio"/>
	6.コンピューターネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・園児に関する記録は、コドモン（紙媒体）で保管されいつでも確認できる
- ・クラス会議や乳児、幼稚会議、ミーティングで情報の共有を行っている
- ・記入の仕方についてマニュアルが作成されていて統一されている

【45】	III-2- (3) -② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	1.個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	<input type="radio"/>
	2.個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	<input type="radio"/>
	3.記録管理の責任者が設置されている。	<input type="radio"/>
	4.記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	<input type="radio"/>
	5.職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	<input type="radio"/>
	6.個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・入社時に個人情報の取り扱いに関する研修、誓約書の提出をしている
- ・社内で、問題があった場合は、内容と対応策の共有を行っている

【A 1】	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b
	1.全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。	<input type="radio"/>
	2.全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。	<input type="radio"/>
	3.全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。	<input type="radio"/>
	4.全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。	<input type="radio"/>
	5.全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・全体的な計画は理念や保育方針をふまえて、年齢や発達段階を考慮して作成されている

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果
【A2】 A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	
1.室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。	<input type="radio"/>	
2.保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。	<input type="radio"/>	
3.家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。	<input type="radio"/>	
4.一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。	<input type="radio"/>	
5.食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。	<input type="radio"/>	
6.手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。	<input type="radio"/>	
【判断した理由・特記事項等】		
・園内の清掃や洗濯は清掃表を活用し、園内の衛生管理をしている		
・仕切りを使用し、遊び込める空間、プライバシーの確保を行っている		
・遊び込める環境チームの職員を中心に園内の環境を定期的に見直している		
【A3】 A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	
1.子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	<input type="radio"/>	
2.子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。	<input type="radio"/>	
3.自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。	<input type="radio"/>	
4.子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。	<input type="radio"/>	
5.子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。	<input type="radio"/>	
6.せかす言葉や制止させる言葉を必要に用いないようにしている。	<input type="radio"/>	
【判断した理由・特記事項等】		
・言葉掛けについての研修を行い、保育の振り返りができるようにしている。		
・年齢別の研修を受けることで年齢や個人差への理解を深めている。		
・一斉活動だけではなく、子どもの体調や機嫌、要望等に合わせた対応を取れるようにしている。		
【A4】 A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	
1.一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。	<input type="radio"/>	
2.基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。	<input type="radio"/>	
3.基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。	<input type="radio"/>	
4.一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。	<input type="radio"/>	
5.基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。	<input type="radio"/>	
【判断した理由・特記事項等】		
・家庭との連携を図り相互理解を深めながら、一人ひとりのペースに合わせて援助している		
・幼児クラスでは、理由を子どもたちと一緒に考えることで自分から進んで行おうとする気持ちを持てるようにしている		
・一斉的ではなく、一人一人に合わせた言葉かけ、援助の仕方を工夫している		
・小学校入学を視野長い目で発達をとらえることができている		

【A5】 A-1-(2)-④

子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊にする保育を展開している。

b

- 1.子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
- 2.子どもが自発性を發揮できるよう援助している。
- 3.遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
- 4.戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
- 5.生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
- 6.子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
- 7.社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
- 8.身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
- 9.地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
- 10.様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

【判断した理由・特記事項等】

- ・天気の良い日には積極的に戸外に出掛け自然に触れることができるようしている
- ・遊び込める環境チーム作り子どもが主体的に活動できる環境作りに年間を通して取り組んでいる
- ・近隣の方へ積極的な挨拶を心がけている

A-1-(2)-⑤

【A6】 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

b

- 1.0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
- 2.0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
- 3.子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
- 4.0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
- 5.0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
- 6.0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。

【判断した理由・特記事項等】

- ・0、1歳児と同じ部屋ではあるが、空間を仕切ることで落ち着けるスペースを確保している
- ・子どもたちの興味に合わせた活動や環境設定を心掛けている
- ・離乳食以降の際には保護者と面談を行い園での形状や家庭での食事の様子等、共有しながら進めている

A-1-(2)-⑥

【A7】 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

b

- 1.一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
- 2.探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
- 3.子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
- 4.子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
- 5.保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。
- 6.様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
- 7.一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。

【判断した理由・特記事項等】

- ・トイレトレーニングや食事(離乳食)の進め方等ご家庭の様子も伺い一緒に進められるようにしている
- ・発達段階や興味等に合わせて室内や遊びの環境を常に見直し必要に応じて柔軟に対応している
- ・複数担任は担任間で保育の方向性を共有することでより良いクラス運営を行えるようにしている

	A-1-(2)-⑦	b
【A8】	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
	1.3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	<input type="radio"/>
	2.4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	<input type="radio"/>
	3.5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。	<input type="radio"/>
	4.子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児では話し合いの機会を意識的に自分とは異なる考えに触れたり友達と協力することの楽しさを感じられるようにしている ・ドキュメンテーション等を用いることで保護者への伝え方を工夫している ・写真販売の他に月2回コドモで活動の様子がわかる写真を添付したりドキュメンテーション等で保育の様子を発信している 		
【A9】	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
	1.建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。	<input type="radio"/>
	2.障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。	<input type="radio"/>
	3.計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。	<input type="radio"/>
	4.子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。	<input type="radio"/>
	5.保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。	<input type="radio"/>
	6.必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。	<input type="radio"/>
	7.職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。	<input type="radio"/>
	8.保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士に相談できる旨を保護者にお知らせしている ・臨床心理士の巡回や相談することができるシステムが整備されている ・臨床心理士の巡回を定期的に行い適切なかかわり方等全職員で周知している 		
【A10】	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
	1.1日の生活を見通して、その連續性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。	<input type="radio"/>
	2.家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。	<input type="radio"/>
	3.子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	4.年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。	<input type="radio"/>
	5.子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。	<input type="radio"/>
	6.子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。	<input type="radio"/>
	7.担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎボードを使用することで、確実な伝達を行えるよう工夫している ・朝、夕の合同時間は、子どもの人数、年齢に合わせて調整している ・長時間過ごす子どもに配慮し、人数に応じて合同保育をしたり、部屋を分けたりしてゆったりと過ごせるようにしている 		

A-1-(2)-⑩

【A11】 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。

b

1.計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。

2.子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。

3.保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。

4.保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。

5.施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

【判断した理由・特記事項等】

- ・小学校と交流の機会があり、小学校での生活の仕方を知るきっかけとなっている
- ・就学後の生活を意識できるよう、個人面談やドキュメンテーションを通して情報を発信している
- ・5歳児クラス担任は接続期研修に参加している
- ・年度末に現担任が保育要録を記入し、全職員が就学を見通して保育している
- ・10の姿等保育の中で大切にしていること、意識していることをドキュメンテーション等で発信している

A-1-(3)-①

子どもの健康管理を適切に行っている。

b

1.子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。

2.子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。

3.子どもの保健に関する計画を作成している。

4.一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。

5.既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関する必要な情報が常に得られるように努めている。

6.保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。

7.職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。

8.保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。

【判断した理由・特記事項等】

- ・首から上のケガは保護者へ連絡を入れる等、全職員が共通認識を持って対応している
- ・けがや病気の情報、健康状態は、暁礼とミーティングノート、共有され保護者への確認が抜けなく行われる体制がある
- ・体調、怪我等は保護者に伝達漏れのないよう引継ぎ表を活用している

A-1-(3)-②

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。

a

1.健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。

2.健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。

3.家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。

【判断した理由・特記事項等】

- ・健康診断の結果は健康台帳に記録として残してある
- ・医師からのアドバイス等は全職員で周知し、保護者に伝えている

A-1-(3)-③

アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。

b

1.アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。

2.慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。

3.保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。

4.食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。

5.職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。

6.他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るために取組を行っている。

【判断した理由・特記事項等】

- ・アレルギー対応マニュアルをもとに全職員と周知し、対応を徹底している
- ・給食、おやつの時に専用のトレイや台布巾を使用しており、記名したり色を変えることで一目で分かるようにしている
- ・持参に関しては、全体ミーティング、ミーティングノート、給食スタッフと担任の口頭確認等、何重にもチェックし対応している

【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b
	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・給食スタッフ、保育スタッフで子どもの様子を共有し、発達段階に合わせ楽しく食材が進められるよう盛り付けや食材の形状等工夫している
- ・家庭の食事の様子も聞きながら保育園と一緒に進めていくようにしている
- ・個々の発達に合わせた対応を心掛けている
- ・幼児クラスは野菜の栽培を行いそれらを使用してクッキング等を行うことで食への関心を高められるよう工夫している
- ・給食の試食を保護者にしてもらう機会を設けている

【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b
	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・郷土料理や物語メニュー、行事に関連した献立を積極的に取り入れている
- ・全体ミーティングで子どもの喫食状況の確認を行い調理方法の改善に繋げている
- ・献立に季節の野菜や果物を取り入れ、食育マップで紹介している
- ・給食の巡回や食育を給食スタッフと一緒に行き子どもとかかわる機会を設けている

【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・乳児クラスは毎日連絡帳を用いて子どもの様子を伝えたり情報交換を行っている
- ・ドキュメンテーションやクラス便り、活動表等を通して活動のねらいや子どもの様子を伝えている
- ・参観日を設け保育に参加したり、子どもたちの保育園で過ごす様子を見ていただく機会を設けている
- ・個人面談を年2回実施している

【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・個人面談では、保護者からの相談、質問内容について施設長から助言を受けられる体制が整っている
- ・保護者の勤務時間帯に合わせて面談や相談を受け付けている
- ・保護者の要望等により、個人面談とは別に面談する機会を設けている
- ・保護者の様子、相談等は必要に応じて共有している。

【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・子どもからの気になる発信等も眞礼で共有し、全職員で見守る体制がある
- ・受け入れ時や着替え時にケガの有無の確認や様子の変化に気づけるよう観察することを心掛けている

【A20】 A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

- ・日々の保育に関しては、毎日の振り返りや反省を行っている
- ・振り返りの中で生じた疑問や反省点について、職員間で意見を交わすことで互いの知識や意識の向上につながっている
- ・全職員が得意分野を活かしながら活躍できる環境であり、苦手なことも学びあえる協力体制ができている
- ・毎月のミニ面談を実施し評価を行っている